

5 回生 現代文B 授業のシラバス

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	2単位
科目の目標	○近代以降の様々な文章を的確に理解し適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊にする態度を育てる。				
教科書	精選現代文B（東京書籍）		副教材	学習課題ノート（東京書籍） 新現代文単語（いいずな書店）	

1 学習の目標

- (1)論理的な文章において、筆者の主張を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約したりする力を身につける。また、文章構成を確かめたり、表現の特徴を捉えたりする力を身につける。
- (2)文学的な文章において、人物像・情景・心情などを表現に即して読み味わう力を身につける。
- (3)様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする力を養う。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - シラバスを用いて学習内容を確認し、次のことを予習する。
 - ①新しい単元に入る時は本文を全文読む。
 - ②語句の意味調べをする。（教科書下段の＊印を中心にわからないもの全て調べる。）
- (2) 授業について
 - ①論理的な文章の場合、構成を理解し、作者の言いたいことを読書ノートにまとめる。
 - ②文学的な文章の場合、登場人物の心情変化や場面から、作品を通して表現される筆者の主張を読み取る。
 - ③発問については、必ず自分で答えを出し、他者の意見や解答例と比較する。
- (3) 復習について
 - 次のことを復習する。
 - ①単元終了後に、本文のテーマ、主題を一文で書く。
 - ②単元終了後に考えたこと、感じたことなどを書く。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
②話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
③書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
④読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
⑤知識・理解	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語彙・漢字などを理解し、知識を身につけている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点 \ 評 価 材 料	定 期 考 査	現代文単語	発 言 発 表	シラバス 振り返り	グループ 活動	スピーチ	文章作成
① 関心・意欲・態度			○	◎	○	○	○
② 話す・聞く能力	○				○	◎	
③ 書く能力	○						◎
④ 読む能力	◎		○	○			
⑤ 知識・理解	◎	◎	○	○			

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感と調整を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

単 元	学 習 内 容	評 価 の 観 点	資 質 ・ 能 力
A. スピーチ	課題探究に関するスピーチ	②自分のテーマの魅力や探究の進捗状況を適切に伝えている。 ②発表者のスピーチの内容をシートにまとめることができる。	ABCD
B. 批評文	教材に対する批評、意見	③与えられたテーマと作品について自分の考えを持ち、適切に表現できる。	ABCDI
1. 評論1 ○ 構造を手掛かりに読み取る	「ミロのヴィーナス」 1. 構造に着目して、筆者の主張を読み取る。 2. 具体例を手掛かりに内容を読み取る。	①構造に着目して筆者の主張を読み取ろうとしている。 ④構造、具体例の双方から筆者の主張を理解することができる。 ⑤漢字、語彙の知識が定着している。	ABCDI
2. 小説1 ○ 描写が象徴するもの	『山月記』 1. 登場人物の心情推移を理解する。 2. 人間にまわりつく悲劇性を理解する。 3. 独特な文体を読み味わう。	①登場人物の心情推移を理解しようとしている。 ④独特の文体を読み味わいながら、登場人物の心情推移を理解し、人間にまわりつく悲劇性を理解することができる。 ⑤漢字、語彙の知識が定着している。	ABCDEI
3. 話し合う	文学的文章を読んで話し合う	②文学的文章を読んで考えたことを根拠を示して伝える。	
4. 意見文を書く ○ 科学の異	「科学の異」についての意見文を書く 1. 具体例・分析・主張を区別して課題文を読む。 2. 課題文の論理展開を検討し、疑問を挙げる。	①構造に着目して、筆者の主張を読み取ろうとしている。 ③根拠と具体例を挙げて意見文を書くことができる。 ⑤具体例・分析・主張の区別を理解している。	ABCDI
5. 評論2 ○ 同じテーマの評論を比較する	「科学的『発見』とは」 「人間の運命と科学」 1. 構造に着目して、筆者の主張を読み取る。 2. 具体と抽象を手掛かりに内容を読み取る。	①構造に着目して、筆者の主張を読み取ろうとしている。 ④構造に着目して、一般論と筆者の主張の相違を理解することができる。 ⑤漢字、語彙の知識が定着している。	ABCDI
6. 小説2 ○ 登場人物の体験→変容を読み取る	『こころ』 1. 登場人物の心情推移を正確に理解する。 2. 寓意に富む小説から主題を読み取る。	①登場人物の心情推移を正確に理解し、寓意を読み取ろうとしている。 ④登場人物の心情推移を正確に理解することができる。寓意に込められた小説の主題を読み取ることができる。 ⑤漢字、語彙、文学史の知識が定着している。	ABCDEI
7. 評論5 ○ 図表を読み解く	「地図の想像力」 1. 具体と抽象を読み取る。 2. 本文に書かれた内容を具体化できる。 「図表を読み解くために」	①具体と抽象の構造から筆者の主張を読み取ろうとしている。 ④具体と抽象の構造を正確に理解して、筆者の主張を読み取ることができる。 ⑤漢字、語彙の知識が定着している。	ABCDILM
8. 小説3 ○ 社会の課題を主題とした小説	『藤野先生』 1. 描かれた人間・社会から、筆者の課題意識を読み取る。 2. 様々な表現から心情を理解する。	①登場人物の心情を理解しようとしている。 ④各場面における登場人物の言動の理由を、様々な表現に基づいて考察し、心情を理解することができる。 ⑤漢字、語彙、文学史の知識が定着している。	ABCDEI
9. 評論3 ○ 複数評論の比べ読み	「おじいさんのランプ」 1. 通信技術の進歩と社会の関係を読み取る。 2. 具体と抽象を読み取る。 「書物の近代」 「読み書きする身体」	①具体と抽象の構造から筆者の主張を読み取ろうとしている。 ④具体と抽象の構造を正確に理解して、筆者の主張を読み取ることができる。 ⑤漢字、語彙の知識が定着している。	ABCDILM
10. 言語活動	「文章を読み比べるために」 複数の観点を活かして理解を深める	③社会・人間の在り方について、自己の価値観と比較して小論文を作成する。	ABCDEI

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【話す・聞く能力】→②、【書く能力】→③、【読む能力】→④、【知識・理解】→⑤として表現しています。